

日刊

THE NIKKAN

工業

KOGYO SHIMBUN

新聞

7月20日 火曜日

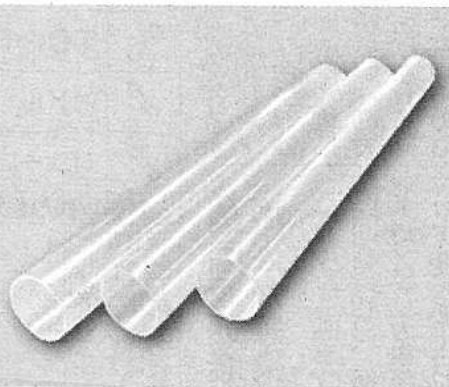
2021年(令和3年)

シバセ工業(岡山県浅口市、磯田拓也社長)は、東京五輪の開催期間中、選手や関係者らを対象とする新型コロナウイルスのPCR検査時に使うストロー105万本を受注した。ほかの医療機関や民間PCR検査機関向けも生産しており「生産設備をフル稼働して対応する」(同社)としている。

シバセ工業が生産するのは唾液によるPCR検査時に使用するストロー。採取した唾液を確実に容器内へ入れるために使う。五輪向けには口径10mm×長さ70mm、フィルム個別包装の特別仕様品を出荷する。唾液によるPCR検査は鼻咽喉頭ぬぐい液PCR検査に比べて咳やくしゃみによるウ

シバセ、五輪向け大型受注

PCR検査用ストロー 会期中に105万本



包装なしPCR検査用ストロー
(標準品)

イルス拡散を抑制でき、10mm×長さ100mm以下の周囲への感染リスクを下げるという。個別包装にも対応する。

PCR検査用ストロー44年にストローの生産は2020年6月の生産を開始し、国内で飲料と開始から半年間は1カ月医療、工業向けを生産する数万本の生産量だったが、現在は同社のみという。現在は同数百万本の水準工業向けではネジなどに拡大。21年6月末まで小型製品の塗装時のマスクに合計983万本生産し、キングや収納用などに出た。標準品の寸法は口径 荷している。(岡山)